

福、笑い 通信 (第1号)

発行日：令和4年6月3日

発行元：福島県水田畑作課

令和4年度「福、笑い」は15の研究会で作付けが行われます

本格デビュー2年目となる令和4年産の「福、笑い」は、15研究会114名で、昨年度の倍となる約50.5haの作付を行っており、260tの収量を見込んでいます。

研究会名	会員数	作付市町村	実証ほ
ふくしま未来農業協同組合「福、笑い」研究会	23	福島市、南相馬市等	福島市飯野町
J A福島さくら「福、笑い」研究会	15	郡山市、いわき市等	郡山市安積町、いわき市小川町
県南地区「福、笑い」栽培研究会	16	白河市、天栄村等	白河市田島
J A会津よつば「福、笑い」研究会	21	会津若松市、柳津町等	会津若松市北会津町
あだたらの里「福、笑い」研究会	4	大玉村、矢吹町	大玉村玉井
いわせの錦秋米生産部会	3	須賀川市等	須賀川市志茂
アグリマネジメントコンソーシアム会津	5	会津坂下町等	会津美里町福重岡
福、笑い有機栽培技術研究会	4	会津美里町等	会津美里町旭寺入
いわき福笑い研究会	4	いわき市、相馬市	いわき市沼部町
やまろく米出荷協議会「福、笑い」研究会	4	福島市	福島市松川町
ライスコネクト研究会	3	郡山市、須賀川市	郡山市逢瀬町
会津水稻研究会	3	会津若松市、喜多方市	会津若松市高野町
会津「福、笑い」プロジェクト	3	会津若松市、会津坂下町	会津若松市門田
磐梯町福、笑い研究会	3	磐梯町	磐梯町大字大谷
会津あぐえこ研究会	3	喜多方市等	喜多方市塩川



(水田畑作課)

5月中旬を中心に、「福笑い」の田植えが行われました



5月17日(火)、ふくしま未来農業協同組合「福、笑い」研究会会長の須田正一さんの水田で田植え式が行われ、知事、J A福島五連副会長、福島大学や県農業短期大学の学生など約20人が、心を込めて手植えしました。

(県北農林事務所農業振興普及部)

↑ 令和4年産「福、笑い」田植え式の様子

5月20日(金)、田植え日和の晴天の中、「いわき福笑い研究会」に所属する県立磐城農業高等学校で、「福笑い」の田植えが行われました。

作付け2年目となる今年の田植えも学生による手植え作業です!

初めての田植えに興奮気味だったり、盛大に転んで泥だらけになったりと、元気いっぱいの笑い声が響き渡る素敵なひとときとなりました。

(いわき農林事務所農業振興普及部)



↑ 磐城農業高等学校田植えの様子

令和3年産「福、笑い」は多くの方々に購入いただきました



令和3年産「福、笑い」は、10月28日から販売がスタートしました。県が確認できたところでは県内外76店舗で販売され、1月中旬の販売進捗は7割超、契約進捗は9割超となりました。

知事のトップセールスを始めとするフェア開催や、テレビCM放映、メディアに取り上げられたことなどにより、11月以降に首都圏での出荷が進みました。

また、「福、笑い」という縁起の良い名前から、ギフト用に購入いただく動きもあり、全体的には、高価格帯を維持しながら販売することができました。

百貨店や米穀店からは、有機栽培や特別栽培などのラインナップを期待する意見もあったことから、付加価値の創造や新たな販路開拓のためにも、研究会の皆様におかれましては、栽培の取組についてご検討いただければと思います。

(農産物流通課)



↑ 知事によるトップセールス



福島県からのお知らせ



農薬の誤使用に注意しましょう！

本格的な作付けシーズンに突入し、ほ場での管理も増えてくる頃かと思えます。

農薬を使用する前にラベルをもう一度よく読み、使用基準を守って、ドリフトに気を付けながら使用してください。

また、農薬を使用したら、必ず記帳しましょう。

(水田畑作課)



「福、笑い」のホームページをご覧ください！

公式サイトでは、販売店舗の案内やイベント情報などを積極的に発信し、全国の消費者等に「福、笑い」をPRしています。

今年は、生産者の「福、笑い」に込める思いやこだわりなどにもクローズアップし、「福、笑い」のファンをさらに増やしてまいります。(農産物流通課)



県オリジナル米の品質向上対策として、補助事業を活用しませんか？！

産地における「福、笑い」*をはじめとした、県産米の食味・品質向上の取り組みを支援するために、必要な機械等のリース整備を支援します。 ※「福、笑い」「天のつぶ」「里山のつぶ」等オリジナル品種が対象です。

福、笑い研究会での事業活用ができますので、詳細を知りたい方は、近隣の農林事務所農業振興普及部農業振興課までお早めに問合せ願います。

○事業実施主体

農業協同組合、農業者団体（農業者3戸以上で構成する組織。法人を含む）等

○補助対象事業費

色彩選別機、食味計、穀粒判定機、ほ場管理システムと連動したコンバイン等

○補助率

1/2以内（上限3,500千円/件）

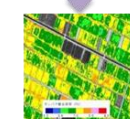
(水田畑作課)



ドローンによる画像撮影



食味計による詳細な分析



生育・地力診断マップの作成

生育・地力診断等の結果に応じた可変施肥や土壌改良資材の施用

苗等の処分報告を提出してください

田植終了後、研究会事務局が、生産者ごとに余った苗や種子の処分状況を確認することになっています。生産者の皆様は、「苗の処分確認書」を研究会事務局に提出してください。

また、研究会事務局は、6月30日（木）までに管轄する農林事務所へ処分報告を行ってください。

(水田畑作課)